

# あきたの 地域医療通信

2010年5月 第7号

発行／秋田県健康福祉部医務薬事課  
医師確保対策室



**専**門研修医及びその指導医を対象に、短期海外研修を行う「専門医研修レベルアップ事業」で、メイヨークリニックへ研修に行った、秋田大学医学部血液腎臓膠原病内科講師高橋直人先生から、現地研修の様子を報告していただきました。

## Mayo Clinic in Rochester, MN 短期研修報告

秋田大学医学部血液腎臓膠原病内科講師 高橋 直人

研修場所：Mayo Clinic Rochester, Hematology and Oncology Department

研修期間：平成 22 年 2 月 8 日月曜日－ 2 月 10 日水曜日

### はじめに

秋田県のサポートにて、研修医に対する医学教育を学ぶ目的で血液内科後期研修医の道下吉広先生とともに Mayo Clinic を訪問した。研修医に対するセミナーや実際の診療を通して短期ではあるが内容の濃い研修を行った。研修医にとっても指導医にとってもとても有意義な 3 日間であった。

### 施設見学

Mayo Clinic を訪れる Visitor に対して毎日行われている guest tour に参加した。Father of Mayo と呼ばれる Dr. W.W. Mayo が 1860 年代にリンカーンに招聘されこの Rochester に赴任したことから Mayo Clinic の歴史が始まった。「the best interest of the patient is the only interest to be considered (患者さんの興味は、医師がいかに患者のことを考えてくれているかということにつきる)」という言葉が Mayo Clinic Heritage Hall に掲げられている。Mayo Historical Suite には多くの歴史を語る写真や物が展示されている。写真には甲状腺疾患で有名な Dr.Plummer や Cushing 病の Dr. Cushing が写っていた。

### 外来見学

血液内科の Dr. Animesh Pardanani の外来を見学した。カンザスシティから車で夫とともに 6 時間もかけて受診した 44 歳女性の診療に同行した。Dr. Animesh の



写真 1 病棟回診の記念写真。病室の前で左から筆者、Dr. Hogan、道下先生、チーフレジデント、レジデントの二人。Dr. Hogan はアイルランド出身、その他のレジデントもアメリカ内外からの混合チームである。全員スーツとネクタイ。Mayo の医師は白衣を着ない。

問診と診察は十分に時間をかけ、患者さんが納得できるように工夫されたものであり、とても参考になった。とても和やかな診察が終了し、今後の方針について夫を含めてディスカッションを行い、今後も紹介医とともに Mayo Clinic でも follow していることとなった。診察終了後、オフィスに戻り再度治療方針についてわれわれを含めディスカッションを行い、結論を電話で Case record して終了となった。診察が患者教育のみならず、適宜最新の臨床報告をスライドで示しながら同伴している研修医教育にもなり、外来診察人数は少ないものの内容の濃い後期研修が受けられる環境であることが確認された。

## モーニングセミナー

朝7時45分から Mayo Building West 10F の血液腫瘍内科から歩いて隣の GONDA ビルのセミナー室で行われた。医学部学生と思われるグループも朝早くから参加していた。今日のセミナーは鉄欠乏と鉄過剰の講義である。臨床にすぐに役立つ情報であり take home message が明らかにされている実践的なセミナーであった。フェローも学生もみなコーヒーとベーグルなどを食べながらのモーニングセミナーは忙しい朝ではあるが時間を有効に使い、一日始まる前の頭の体操の意味もあった。

## 学生講義

医学部一年次の基礎医学である病理解剖学の2時間講義に参加した。講義の形式は完全なる参加型である。10以上の症例を2-3人の学生がグループとなり臨床経過から病理解剖に至るまでパワーポイントでプレゼンする。さらに病理解剖から得られた組織を供覧しこの組織であるか(これはまさに解剖組織学)フロアーの学生に問いかけ、いろいろなところから声が出る。病理組織としてどこが異常でありその根拠はなにか、そして鑑別診断をあげる流れはまさにCPCである。次から次へと供覧される組織像は2時間で組織アトラスのすべての臓器を見たと同じであり、病理は細かなことよりもその病態を考えさせるものであった。

## 病棟研修

朝8時20分から化学療法と移植の Dr. Hogan チームと一緒にラウンドを行った。チームの構成はアテンディングの Dr. Hogan、チーフフェロー、2年目のレジデント(ローテーター)4人。まずチームのメンバーに加え、インターンの Dr. 2人と化学療法グループの Professor と一緒に約30分のケースカンファランスを行う。レジデントのプレゼンのあとに Dr. Hogan の仕切りでディスカッションが始まった。レジデントやインターンからの問題点の抽出と次にやるべき検査を挙げてもらい、実際に何の検査をやりその結果はどうであったのかが追加された。プレゼンの一方でチーフフェローがホワイトボードに problem list を書いていく。多くのレジデントが考えを述べ、一つの意見に対しアテンダントが圧倒的な知識とエビデンスの提示により理論的な裏づけをし、とりあえずの治療方針が決定する。30分の内容の濃いケースカンファラを行(なんと問題のあるこの1例のみ!)、このチームの管理している約15人の回診を行った。患者は一人ICUに入室しているがそのほ



写真2 外来診察室。Dr. Animesh と道下先生。患者さんは左手に見えるソファに座りゆっくりとお話ができる。机の上には電子カルテと血圧計とスターバックスのコーヒー。右手は診察ベット。背が低い人は台がないと登れない。

かは一般個室であり、病棟はすべて同じ構造であった。アテンディング Dr.Hogan を中心とした円陣で担当医から入室前にショートプレゼンをしてもらった。患者さんと顔をあわせにこやかに挨拶を交わし、ベットサイドに腰を下ろし同じ目線で適切な質問と最小限の診察を行う。アテンダントの役割はベットサイドにおける検査結果の説明や検査の予定と必要性をお話することであり、チーム医療の全責任を負っていることを患者と家族に示していた。またいろいろな情報のなかから特にいいニュースをひとつでも患者さんに提供するように心がけている。数多くの言葉をかけながら、それでも言葉をとっても選びながら、患者にとってとても親身になっているようすが伝わってきた。全面的な信頼関係が築かれている。全員の回診が終了した後に、看護師とのカンファを行う。全員の経過をショートプレゼンでチーフフェローが代表して報告した。特に外来にいつ持っていけるのかということが重要であり、家族との関係や受け入れの状況については看護師やソーシャルワーカーも責任を負っている様子が伺えた。

## 最後に

秋田県と Mayo Clinic の良好な関係はいままでの関係者の努力のおかげであり、感謝に堪えない。今後も秋田県における医師初期研修や秋田大学の後期研修の発展のためにこの国際交流を継続していきたいと思う。またこの経験を後期研修医の道下先生にはこれからの専門研修に、そして指導医の私はこれからの医学教育と診療に生かして行きたいと思う。

※平成21年度の「専門医研修レベルアップ事業」では、指導医6人、後期研修医3人が、メイヨークリニックで研修を行いました。

# 秋田県職員医師募集

- 秋田県内の自治体病院等で診療に従事していただける医師を県職員として採用します。採用人数は5人です。
- 勤務期間は4年間で1単位
- 3年間は県内の自治体病院等に勤務
- 残り1年は希望する国内外の医療・研究施設において、有給の研修・研究期間とすることが可能

◎ご連絡をいただければ、直ちに、申込書類一式を送付いたします。

<http://www.pref.akita.lg.jp>

(美の国あきたネット→便利ツール→県職員医師募集)



# 秋田県臨床研修病院合同説明会

平成22年2月10日(水)秋田大学医学部医学系総合研究棟2F、1講義室及び2講義室において、県内臨床研修病院(14病院)の合同説明会が開催されました。

各臨床研修病院の指導医、研修医の先生方が、自院の研修プログラムや、実際の現場の様子など、詳細な説明を行いました。5年次生を中心に、97人の秋田大学医学部の学生さんに参加していただき、狭い会場はかなりの熱気に包まれ、盛況のうちに説明会を終えることができました。

今年度も、秋田大学医学部での合同説明会など、県内臨床研修病院の情報提供をしていきたいと思っております。

▶秋田大学のブースで面談する様子



▲秋田赤十字病院のプロジェクトでの説明の様子



## テレビスポット CM

### 「夜間救急マナー絵本編」

を放映しました!!

県では、県民の皆さまに、医療機関への受診についてを今一度考えてもらう契機となるよう、テレビスポットCM「夜間救急マナー絵本編」を制作し、本年2月～3月にかけて、県内民放3社において放映いたしました。

現在、本CMは、県のホームページ(美の国あきたネット)において配信しておりますので、是非一度ご覧ください!!



秋田広告協会 2009年度テレビ部門協会賞受賞

<http://webtv.pref.akita.jp/link/index.html>

## 医師リクルート情報発信事業

秋田県内医療機関の医師求人情報等を幅広く全国に発信するために、昨年12月24日に、(株)リンクスタッフの「e-doctor」の中に、秋田県の専用ページを設けました。

今までのWEBによる情報発信は、秋田県庁のHP「美の国あきたネット」内の医師確保対策室のページから行っておりましたが、今回は医師専門求人サイト内からの発信となりますので、より多くの関係者の目に触れやすくなったのではと思っております。

「美の国秋田は、医の国秋田」をキャッチコピーとして、WEBサイトにアクセスいただければ、こまち娘が皆様をお迎えます。

県内医療機関の医師求人情報はもとより、秋田県臨床研修協議会の取組みなども写真で紹介しております。

今後も、このサイトから様々な情報を発信してまいりますので、是非一度ご覧ください。皆様のアクセスをお待ちしております。



URL : <http://www.e-doctor.ne.jp/contents/special/akita/>

# 指導医メッセージ



秋田大学医学部附属病院  
血液、腎臓、リウマチ内科

奥 山 慎



「全身を診る内科医」。これが我々が目指している医師像です。私自身は、腎臓、リウマチ・膠原病、感染症を専門としていますが、共通するのは全身に症状が現れることです。

医学は日進月歩ですから細分化された専門性に特化した専

門医は必要です。その一方で、高齢化社会となった秋田県では、1つの疾患のみの患者さんは少なく、合併症にも対応しなければなりません。合併症のある患者さんの場合、ある疾患に対するベストの治療が、別の合併症には有害なこともあります。それゆえ、「病気」ではなく「患者さんの全て」を見渡したときに最も適切な治療方針を立てる能力、すなわち、総合診療力が必要です。専門科を決めている先生もぜひ研修中に培ってほしいと思います。

私自身は、卒後に3年かけて内科系診療科を全てローテートしました。その経験はむしろ専門医として診療するときに役立っています。他科の先生は、合併症に対してどうアプローチしてどう治療するか考えながら、こちらの専門診療を組み立てるのです。

加齢とともに病名が増えていくのは仕方ありませんが、病名が増えても患者さんにとって生涯の主治医であり続けられる内科医。そんな医師を育てたいと自らも精進しています。



あきたの  
病院紹介  
vol.7

## 仙北組合総合病院

〒014-0027 大仙市大曲通町1番30号  
Tel 0187-63-2111 (代表)

大曲仙北医療圏は面積がほぼ東京都と同じ大きさ(約2,100km<sup>2</sup>)で人口は約145,000人です。病院のある大仙市(旧大曲市)は秋田県南の交通の要所で、秋田新幹線と秋田自動車道の両方の拠点のある地方都市です。大曲は住みやすい街全国1位に選ばれたこともある暮らしやすいところで、毎年8月第4土曜日に行われる「全国花火競技大会」が有名です。

仙北組合総合病院は診療圏唯一の大規模地域中核病院です。common diseaseはもちろん多数の重症患者・救急患者を受け入れています。診療科は17科、臨床研修指定病院・救急告示病院・がん診療連携拠点病院として認定されているほか、多くの科の専門医研修指定病院となっています。各科

指導医は後進の指導・育成に熱心で、特に毎週木曜に行われる画像診断勉強会は現場で経験した生の症例の検討会であり研修医のみならず若いドクター達に好評です。

近年、小児救急外来(H17年~毎日曜日)や休祭日診療(H20年~毎休祭日)など地域の開業医による診療支援が充実し、勤務医の負担軽減が得られています。一般の診療においても良好な医療連携がとれており地域に密着した病院であることが実感できます。



## レジナビフェア 2010 in 東京

医学生のための臨床研修指定病院合同セミナー(主催:メディカル・プリンシプル社)が、東京ビッグサイトで開催されます。今年も「秋田県病院群(臨床研修協議会)」として参加し、たくさんの研修医が秋田の臨床研修病院へ来てくれるよう各病院のPRをします。

期 日:平成22年7月18日(日)10:00~17:00

会 場:東京ビッグサイト 東4・5ホール  
(東京都江東区有明)



▲レジナビフェア2009(昨年)の秋田県病院群ブース

… お問い合わせ先 …

E-mail: ishikakuho@pref.akita.lg.jp Tel. 018-860-1410  
秋田県健康福祉部医務薬事課 医師確保対策室 〒010-8570 秋田市山王4丁目1番1号